

令和5年第6回真庭市教育委員会会議録

会議種類	定例会	
開催年月日	令和5年5月19日(金)	
開会及び閉会時刻	開会時刻	14:00
	閉会時刻	14:27
場所	JR久世駅前「エキマエ・ノマエ」	
会議録署名者	教育長 三ツ 宗宏	
	署名委員 常本 直史	
会議録作成者	教育総務課 上級主事 美甘 仁美	

1 出席委員

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	三 ッ 宗 宏	
教育長職務代理者	井 口 利 美	
委 員	常 本 直 史	
委 員	徳 山 周 一	
委 員	高 谷 絵里香	

2 出席した者

職 名	氏 名	備 考
教 育 次 長	武 村 良 江	
教育総務課長	浅 野 晃 彦	
学校給食推進室長	丸 山 昭 良	
学校教育課長	秋 元 紀 幸	
生涯学習課課長	谷 岡 理 江	
図書館振興室長	佐 藤 弘 敏	
交流定住推進課長	西 田 光 宏	
教育総務課上級主事	美 甘 仁 美	

3 傍聴人

5 名

4 議事日程

日程	案 件	結 果
	開 会	
第 1	教育長あいさつ	三ツ教育長
第 2	署名委員の指名について	常本委員
第 3	教育長諸報告	武村教育次長
第 4	真庭市教育長職務代理者の指名について	常本委員
第 5	付議事件	
	議案第 26 号 真庭市立小中学校における学校評価実施規程の一部改正について	原案可決
第 6	その他	
第 7	閉 会	

5 議事の概要

(14時00分 開会)

○三ツ教育長

これから第6回教育委員会会議を開催いたします。以下議事日程に従い進めてまいります。今日は趣を変えて、関係の皆さんのご協力をいただきながら、「エキマエ・ノマエ」という場所で教育委員会を開催させていただきます。意図は担当から伝わっていると思いますが、教育委員会の場を地域に開いていきたいという思いが一つと、もう一つは、その場や地域の風土や文化というものがあろうかと思しますので、そういったものも我々肌で感じる機会を作っていきたいという思いで、今回このような形で教育委員会を開催させて頂きました。おそらく回数は限られると思いますが、今後も各地域に出向いて、こういった形で教育委員会を開催させていただけたらと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

では、日程に従って進めてまいります。日程第1 教育長あいさつです。

今日は挨拶といっても、一つ情報提供というか、考えていかなければいけないと思うことについてお話をさせていただけたらと思います。

お手元の資料をご覧ください。第2次真庭市総合計画の中に、「2040年の真庭市民は人生を楽しんでいます」という言葉があります。2040年というと、多分皆さんも想像がつくと思いますが、団塊ジュニアという世代が退職に向かっていく時代であります。そして、そういった中で人口も減っていくということが言われている時代であります。加えて、その下に数字が3つ書いてありますが、461というのは、実は平成20年の中学校3年生の生徒数です。その次の375というのが、15年後の今年の中学校3年生の生徒数です。大体15年で、20%近く減少しているという状況であります。その次の221というのは、まだ確定数字かどうか怪しいところがありますが、おおよそ令和4年（年度ではなく）の出生数です。これもまた、15年程で大体40%程度減少しています。これを見ると、30年で半分以下になっているという状況です。私が言うまでもない

のですが、20年後30年後を考えた時に、今の子供たちが間違いなく地域そして社会を担っていきます。まさしく子供は未来そのものだなということを考えているわけです。

もちろん子供たちは自分の意思で人生を選択していきますので、それを精一杯応援するというのが一番ですけれども、同時に、この地域社会の未来を考えた時に、子供たちがどう育ていけばいいのか、子供たちが自分たちの力でどのように育ていけばいいのかということがやはり今、私達が立っている地点なんだろうなということを感じているところです。地域への誇りとか愛情を育まなければいけないということで、各地でふるさと教育が進められています。裏面を見てください。ただ気をつけなければいけないのは、地域の歴史や文化を学ぶこと、それはそれで大事なわけけれども、本当に愛情とか誇りというのは教えられるものなんだろうかということです。本当は、暮らしの中で、「そのときが楽しかった」「そのときに学ぶことができた」「地域の大人たちと一緒に活動して豊かであった」こういった体感を積み上げていく中でしか、誇りや愛情というのは、なかなか育ていられないのではないだろうかと思います。

そんなことを教育という分野から、支えていけたらいいなという願いを持っています。これは何度もこの場でも議論してきたことなので皆さんよくわかっていることですが、コミュニティスクール、そして地域学校協働活動というのが、今年度から全ての学校・地域でスタートしました。そういうものをベースにしながら、この地域で楽しく学べる、暮らせる、その中で豊かさを体感できるということを、私達は考えていきたいと強く思っているところであり、今日の議題がそうだということではないですが、今後様々なことについて考えていく上で大切にしたいと思っていることをお話をさせていただきました。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

続いて、日程第2署名委員の指名ですが、今日は常本委員さんお願いします。

○常本委員

はい。

○三ツ教育長

続いて日程第3 教育長諸報告を教育次長よりさせていただきます。

○武村教育次長

(資料により説明)

○三ツ教育長

以上、教育長諸報告をさせていただきましたが、委員の皆さんからご質問ご意見ありませんでしょうか。

○徳山委員

昨日川上小学校の運動会で、少し観覧してきたので報告させていただきます。春に入学したばかりの1年生もとても張り切って元気にやっていました。熱中症がすごく心配されて前日もとても暑かったのですが、当日は心地よい風が吹いてそれほどではなかったです。ただ、1名だけ体調が悪くなりかけた子がいたようですが、大丈夫だったということでした。以上です。

○三ツ教育長

はい、ありがとうございます。他の委員の皆さんから何かありますか。

○常本委員

運動会や既に修学旅行を実施した学校もいくつかあったと思いますが、今コロナやインフルエンザが流行っているという状況で、児童生徒の様子はどうだったのか何か情報が入っていれば教えてください。

○秋元学校教育課長

子供たちの情報についてですが、現時点では特段、何か感染症が流行している等の情報は入っておりません。今ここにある予定通りで、今までの学校は実

施できているということを聞いています。本日も修学旅行で、北九州の方に行っている中学校もありますし、概ね順調に実施できるかと思っています。また、協議会でも報告を簡単にさせていただきますが、コロナウイルスが5類相当に変更したことよっての大きな影響はないと学校からも聞いているところです。以上です。

○三ツ教育長

よろしいですか。その他ありますか。

私から諸報告の補足です。先日真庭新庄 PTA 連合会の総会に行ってきました。もちろん議事に参加したわけではないですが、冒頭の挨拶で前会長さんが、PTA 活動というのは大変だというふうに聞かされていたと。けれども実際にやってみると楽しかったと。そういったことをおっしゃってくださっていました。多くの役員さんとも少し話しをしたのですが、「もちろん大変ではあるけれども楽しかった」とおっしゃっていて、子供たちの学びに関わることに對してすごく前向きな話をしてくださっていたので、大変ありがたいなというふうに感じました。

それから、今度の美作地区教育委員連絡協議会ですが、大館市というのは多分ご存知の方も多いと思いますけれども、面白い取り組みをされていて、ちょっと勉強したいなと思っていたのですが、子供ハローワークといって、子供たちが実際に仕事の現場に出ていたり、体験活動をしていくマッチングを図るようなプログラムを持っています。要するに、大人が働くとか楽しむという場に子供たちが出てその姿を体感するというもので、とても楽しみな講演だなと思っています。

それから最後の行事予定の中を見ていただいたらわかりますが津黒高原方面を利用する学校が大分増えていきました。コロナの影響も若干あったのかなとは思っていますけれども、引き続き真庭の地域もしっかり学んで体験してほしいなと思っています。以上です。

それでは次に移ります。日程第4、真庭市教育長職務代理者の指名についてで

す。井口委員さんがここで退任をされます。職務代理者ということで今まで大変ありがとうございました。それに伴いまして、新しい職務代理者を指名するということであります。私の方から指名をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは職務代理者を指名いたします。これは地教行法第 13 条に基づいて、教育長に事故があるとき、又は教育長が欠けたときは、あらかじめ指名した委員が職務を行うということになっております。それでは指名をさせてください。常本委員さんをお願いしたいと思いますが、皆さんご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは常本委員さんよろしく申し上げます。

○常本委員

はい。

○三ツ教育長

それでは、続いて日程第 5 付議事件に移ります。

議案第 26 号 真庭市立小中学校における学校評価実施規程の一部改正について、事務局より申し上げます。

○秋元学校教育課長

(資料により説明)

○三ツ教育長

ただいま説明がありました。委員の皆さんからご質問等ありますか。

○徳山委員

すみません、以前にも言ったかもしれませんが、この改正については異議はありません。ただ、私が現職のときにこれが始まったのですが、現場でやる割にはその成果がどうなのかなということを思っていました。学校評価にエネルギーをかなり使うのですが、それに対してどれだけ本当に効果が上がるようなやり方ができてるのかなと思っていたのですが、今回学校関係者が学校運営協議会の委員さんになるということで（学校経営にも関わってきている方ということで）、その辺の評価の中身も何か変わるようなことがあるのかどうかについて教えていただけたらと思います。

○秋元学校教育課長

はい、ありがとうございます。評価の具体についてお話をいただいたかと思えます。やはり評価をするのであればそれを生かして、学校運営・学校経営に生かしていくという動きにしていかなければならないということは、もうおっしゃる通りです。

評価の項目につきましては各校が定めておりますので、それはそれぞれの学校で、現状に合わせて項目を設定をしております。ですから、その評価の項目についても、項目に基づいた評価についても、実際に学校運営協議会として学校経営の方針も承認するような立場になっていくわけですので、より実効性の高いものにブラッシュアップしていけるのではないかなということは期待できるかと思えます。以上です。

○三ツ教育長

よろしいですか。今回学校運営協議会とか地域学校協働活動っていうものが入ってくる大きな目的が、冒頭の話でも申し上げましたけども、今までは学校がやったことを評価者として評価しますよという形でしたが、今度は承認する評価するということだけでなく、一緒に目標を共有したのだからみんなでやろうよというように、だんだん主体者になっていこうということでもあります。ですから今度は、そういった視点も盛り込みながら、学校運営で目指した子供たちがみんなでそういう姿が実現できているかというようなことを評価していく形にシフトしていけたらいいなと思っています。いわゆる外からのお客さんではなく、当事者としてどう関わっていけるかというふうに変わっていけたらいいなという願いを持っておりますが、先ほど課長が申し上げたように、その中身については、各学校でそれぞれ熟議とか議論の中で詰めていただけたらありがたいなと思っております。

その他委員の皆さんから何かこの件についてありますでしょうか。よろしいですか。それではお諮りをいたします。議案第 26 号真庭市立小中学校における学校評価実施規程の一部改正について、ご異議ございませんか。

○全員

はい。

○三ツ教育長

それでは異議なしということで原案可決でお願いします。

続きまして日程第 6 その他です。委員の皆さんから何かこの場で協議あるいは提案等ありましたらお願いします。よろしいですか。

事務局より何かありましたらお願いします。

○武村教育次長

・第 7 回教育委員会 6 月 27 日（火） 9：30

・第8回教育委員会 7月26日(水) 9:30

○三ツ教育長

よろしいでしょうか。その他事務局より何かありますか。それでは、以上で教育委員会会議を終了いたします。

(14時27分 閉会)